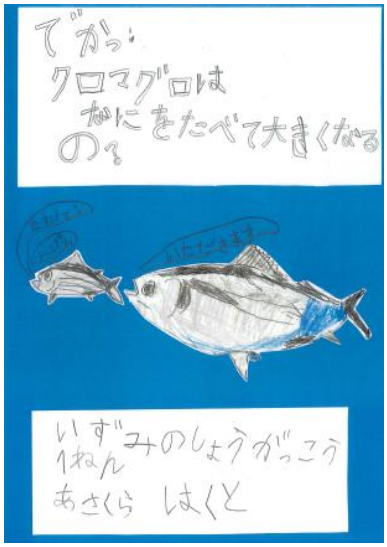
全国佳作作品紹介

佳作



『でかっ！ クロマグロは
なにをたべて大きくなるの？』

泉野小学校 1年 朝倉 舶斗 さん

大すきなマグロの解体ショーで感じたことがすてきなテーマになりました。海の生きものについて、自分の知っていることから予想を立てて、本で調べたり、水族館で取材したりしたことを、自分のことばで分かりやすくまとめることができました。マグロが食べているものをしることで、生きものの命のつながりにも気づいた、すばらしいしらべる学習になっています。

『どうしてステゴサウルスのせ中には
トゲがあるの？』

金沢小学校 2年 小澤 陽太 さん

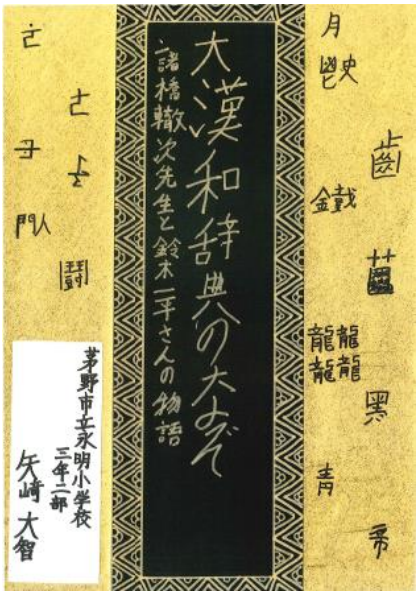
恐竜が大好きな陽太さん。せ中にトゲがあるのはほかにいないことも知っているからこそ生まれた疑問ですね。大きなトゲをパタパタさせて体温調節していたのかなと予想を立てて本をよんだら、あたらしい発見がありましたね。分かったことが「せいたい」と「トゲの役わり」に整理されて、読む人に分かりやすくイラストを使ってまとめられているすてきな作品です。

『色のふしぎを色いろ知りたい!!
～きれいにならぶ色えんぴつのひみつ～』

金沢小学校 2年 平林 舞子 さん

絵をかくことが大すき。身近にあるえんぴつやパステルのならびかたから色のはたらきに目をむけたところがすてきですね。

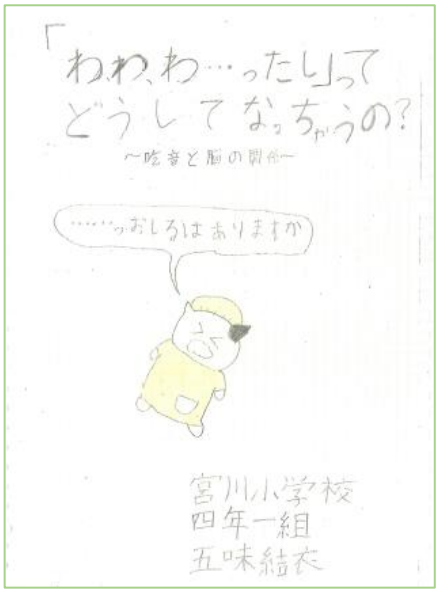
色と気もちの関係にも目をむけて、本でしらべた色づくりをじぶんでも確かめました。作品の中に、きれいな色がいっぱいで、見ていて楽しくなります。自分のことばときれいな色で分かりやすくまとめられた作品です。



『大漢和辞典のなぞ』

永明小学校　3年　矢崎　大智　さん

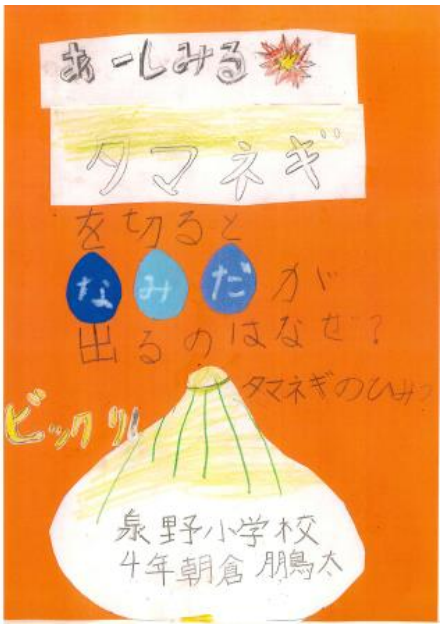
身の回りのいろんなことから「？」を見つけるのが得意な大智さん。大漢和辞典を見て「かっこいいな」と思い、そこにのっている漢字の量にビックリ！こんなにたくさんの漢字をだれがどうやって選んだの？なぜ？どうして作られたの？あふれるぎ問をかい決するために、本を読んだり博物館や出版社へ取材にいったりして調べ、章ごとに自分のことばで分かりやすくまとめた素晴らしい作品です。



『「わ、わ、わ、…たし」ってどうしてなっちゃうの』

宮川小学校　4年　　五味　結衣　さん

自分が不安に感じたことにしっかりと向き合って、きちんと理解しようとたくさんの資料を読んで、分かったことを自分に当てはめながら考察していて素晴らしいです。自分のアバターを使ったり、マンガにしたりしながら、読む人にも分かりやすい工夫をしてまとめられています。分かったことをもとに不安な気持ちに負けず自分ができることに取り組んでいこうという前向きな気持ちが素敵です。



『あーしみる

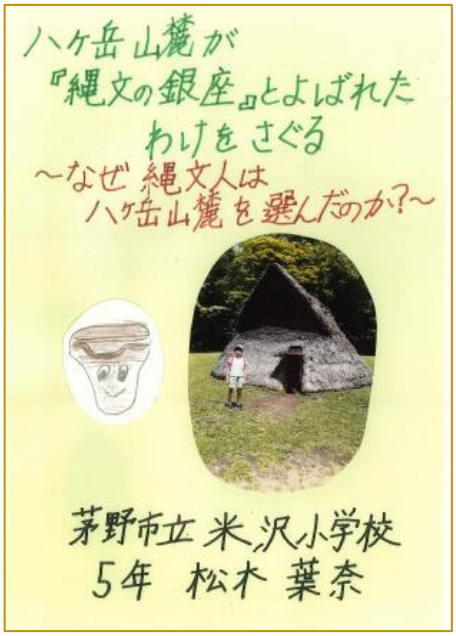
タマネギを切るとなみだが出るのはなぜ?

ビックリ!タマネギのひみつ』

泉野小学校　4年　　朝倉　鵬太　さん

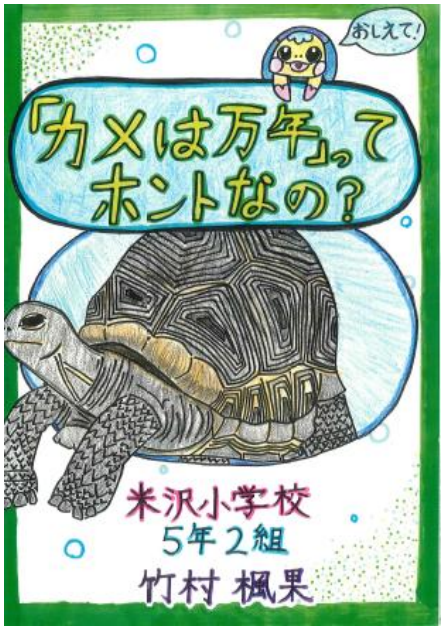
お料理上手なママと鵬太さんのカレー作りがきっかけで、タマネギをくわしく調べることになりました。

本で調べたことを元に、目にしみない方法をいろいろと確かめながら、自分の考えを自分のことばでまとめ、実践しました。その成果を読むと微笑ましく、いっしょに試してみたくなります。生活の中から生まれたすてきな作品です。



『ハケ岳山麓が
「縄文の銀座」とよばれたわけをさぐる
～なぜ縄文人は ハケ岳山麓を選んだのか？～』
米沢小学校 5年 松木 葉奈 さん

二つの国宝の土偶を持つ茅野市。茅野市だけではなくお隣の原村や富士見町にも縄文時代の遺跡があるハケ岳山麓。家族との会話から生まれた疑問について、縄文人の楽しそうな生活を思い浮かべながらていねいに調べています。多くの資料を読んで、ハケ岳山麓の五つの遺跡を訪ねて比較し体感したことを、縄文人になったつもりで整理し、自分のことばでまとめているところが素敵な作品です。

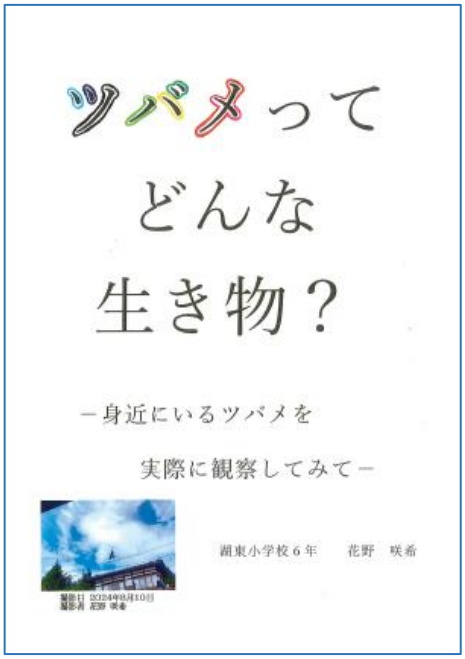


『「カメは万年」ってホントなの？』
米沢小学校 5年 竹村 楓果 さん

ことわざをうのみにせず、ほんとかな？と確かめる楓果さん。その視点が素敵です。
そもそもカメってどんな生き物か、様々な資料を使って調べたことが、カメのアオくんと一緒に分かりやすくまとめられていて、読んでいて楽しい作品です。水族館も訪ね「長生き」のヒントを見つけることができました。カメと仲良くなれそうですね。

『なんでいないの？ アカハライモリ
～豊平にいない理由を探る～』
豊平小学校 5年 宮下 慶仁 さん

家で飼っているアカハライモリ。昨年、その生態を調べこのままでは「絶滅危惧種」になってしまうかも…と危機感を持った慶仁さん。同じ市内でも違いがあることから、本をヒントに水質の違いに着目して資料を集め、わかりやすくまとめました。
２年がかりで根気よくアカハライモリの生態にせまり、地域の人にも取材して確かめた成果を自分のことばでまとめた素敵な作品です。



『ツバメってどんな生き物？』

湖東小学校　6年　花野　咲希　さん

毎年軒下にやってくるツバメ。その姿をていねいに観察し、そこから生まれた疑問について、様々な文献と観察を比較しながら自分なりに考察しているところが素晴らしいです。

ヒナの巣立ちを見守りながら、親鳥のえさを運ぶ努力にも思いを寄せる咲希さんの温かいまなざしが感じられる素敵な作品です。そんな咲希さんのお家だから、ツバメも安心して、毎年巣をつくりに来るんですね。

『いとをかし！ 枕☆草子』

湖東小学校　6年　大藤 睦斗 さん

タイトルを読んだ瞬間、平安時代にタイムスリップ。国語の授業での「春はあけぼの」をきっかけに、時代が変わっても共感できるところや、清少納言の人となりをていねいに調べ、自分なりの解釈に楽しいイラストを交えながら、親しみやすくまとめています。この作品を読んだら、自分でも春夏秋冬の「草子」を作ってみたくなります。世界に一つの「いとをかし」、素敵な作品になりました。

『なぜ茅野市では、
縄文の遺跡が多く発見されているの？』

永明小学校　6年　濱　彩乃　さん

『茅野市』といえば『縄文』。茅野市が縄文人にとって住みやすかったのは、食べ物がたくさんあったから？夏でもすずしかったから？と予想をして、縄文時代の食文化を入口に、八ヶ岳の裏側、御代田町の川原田遺跡と比較しながら調べています。図やイラストを工夫して、調べて分かったことや自分の考えが、読む人にも分かりやすいようにまとめられているところが素敵な作品です。

『「発酵」のヒミツ
～発酵したものは、　なぜ体に良いの？～』
玉川小学校　6年　石田　和音　さん

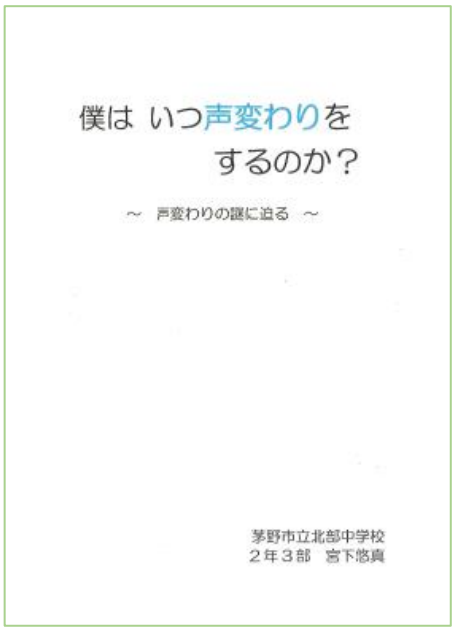
自分が好きな発酵食品。
情報番組と自分の体験とがスッと結びつき「？」が生まれる感性が素敵です。『発酵』について、様々な食品を通して調べたことが、分かりやすくまとめられていて、読みながら普段の食事を見直してみたくなる作品です。そろそろ美味しい味噌ができあがるころでしょうか？　自分で作った味噌を食べたら、また新たな「？」が生まれそうで楽しみです。

『スケートを愛するまち
茅野市スケートヒストリー』
長峰中学校　1年　北原　陽菜　さん

小学生の時に自分が経験し親しんできた「スピードスケート」に着目し、その歴史と文化を調べながら、地域の方々の想いに触れた陽菜さん。貴重な体験を重ねてきた陽菜さんだからこその視点で考察され、茅野市のスケートの歴史と子どもたちのためにリンクづくりに情熱を注いだ地域の方々の想いと技術が、読む人に分かりやすいよう、写真とアバターを使ってまとめられた素敵な作品です。

『発酵食品にはどんなものがあるだろう？
～発酵食品と私たちの生活～』
北部中学校　2年　前原　なずな　さん

パン作りを通して気になった『発酵食品』について、『菌』の働きに着目して調べた作品です。
発酵のしくみから、身体への影響まで、様々な資料を読み比べて分かったことをていねいにまとめています。これからの生活につながる大切な学びですね。この学びを活かして、また美味しくてからだに優しいパン作りができそうですね。



『僕はいつ声変わりをするのか？

～声変わりの謎に迫る～』

北部中学校 2年　宮下 悠真 さん

　合唱部のパートから、声変わりへの関心を深めていった悠真さん。

　声の出る仕組みを様々な資料を読んで調べ、自分の身体と比べながら確かめています。専門家の先生のお話を参考に、自分の声をより深く理解しようとしているところも素敵ですね。読んだ人も、自分の声を確かめたくなりそうです。

　声変わりが進んだら、どんな声になるのか楽しみですね。